［標準様式例７－３］

随意契約結果及び契約の内容

業　務　の　名　称	福島管内道路調査業務
業　務　概　要	道路網・路線計画　１式 計画準備 事業評価、整備効果及び計画段階評価資料作成 地域意見把握 交通量推計・費用便益算出 広域道路ﾈｯﾄﾜｰｸを踏まえた福島管内の道路網整備による機能強化検討 報告書作成
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 東北地方整備局福島河川国道事務所長　丸山　和基 福島県福島市黒岩字榎平３６番地
契　約　年　月　日	令和5年4月12日
契　約　業　者　名	（株）福山コンサルタント　福島営業所
契約業者の住所	福島県福島市野田町７丁目１３－１２
契　約　金　額	５４，０１０，０００円（税込み）
予　定　価　格	５４，０４３，０００円（税込み）
随意契約によることとした理由	別添のとおり
業　務　場　所	福島河川国道事務所管内
業　種　区　分	土木コンサル
履行期間（自）	令和5年4月13日
履行期間（至）	令和6年3月22日
備　考	入札情報サービス（PPI）（https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx)にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契 約 理 由 書

１．件　　名：福島管内道路調査業務

２．請 負 者：株式会社 福山コンサルタント 福島営業所
　　住　　所：福島県福島市野田町７－１３－１２

３．契約理由：　本業務は、福島河川国道事務所の道路事業箇所において、事業評価及び事業整備効果資料作成を行うとともに、今後の道路整備の計画検討のための資料作成（交通量推計及び費用便益の算出等）を行うものである。

本業務の実施にあたっては、事業評価項目の整理やストック効果の検討が重要であり、その調査にあたっては、新たな視点や今後想定される道路交通課題の整理等幅広い知識と高度な技術力が必要になることから、簡易公募型プロポーザル方式に準じた手続きにより技術提案の提出を求めたものである。

上記企業は、国道４号伊達拡幅において段階的供用における整備効果の整理及び管内における道路整備の優先順位を決めるにあたっての各指標について、具体的な提案があり業務実施の有効性が高いと判断されたことから、福島河川国道事務所建設コンサルタント選定委員会において特定されたものである。

以上から、会計法第２９条の３第４項並びに予決令第１０２条の４第３号の規定に基づき、上記企業と契約を締結するものである。